

参加申込方法

いずれかの方法で購入してください。また、ご参加に際しスタッフによるお手伝いが必要な方はお申込時に備考欄にご記入ください。＊今大会は会場での参加のみです。オンライン参加はございません。

1

Peatix から申し込む

クレジットカードやコンビニ決済でチケット代金を支払うことができます。 <https://amc2022.peatix.com>



2

WEB フォームから購入する

下記 URL にアクセスし、必要事項をご入力の上、参加費をご入金ください。 <https://forms.gle/A8CZHbuRAPCTzoCZ7>



3

メールまたは FAX から申し込む

チラシの申込欄にご記入いただき、メールまたは FAX でお申込のうえ、参加費をご入金ください。

振込先

②③の方法でお申し込みの場合、郵便局の郵便振替もしくは銀行振り込みをご利用ください。振込手数料はご負担願います。通信欄に「2022 年度大会参加費」とご記入ください。

- 郵便振替 [口座記号・番号] 00920-4-252135 [加入者名] アートミーツケア学会
- 銀行振込 [銀行名] ゆうちょ銀行 ゼロキューキュー (〇九九) 支店 当座
[口座番号] 0252135 [口座名義] アートミーツケア学会

参加費

	会員	非会員
一般	2,000 円	4,000 円
学生	1,000 円	2,000 円
オプション	お弁当を希望する場合 1,000 円/個	

ご入金いただいた参加費・お弁当代は、原則としてご返金いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

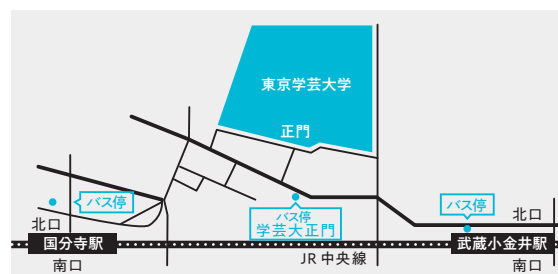
申し込み期限

11/26^土

会場案内

東京学芸大学
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4丁目1-1

- JR 武蔵小金井駅・北口より徒歩約 25 分
【バス】[5番バス停]「小平団地」行に乗車、
「学芸大正門」下車
[5番バス停]「国分寺駅北口」行に乗車、
「学芸大正門」下車
- JR 国分寺駅・北口より徒歩約 20 分
【バス】[5番バス停]「武蔵小金井駅北口」行に乗車、
「学芸大正門」下車



お問い合わせ
お申し込み先

アートミーツケア学会 事務局
〒630-8044 奈良市六条西 3-25-4 一般財団法人たんぼの家内

[TEL] 0742-43-7055 [Fax] 0742-49-5501
[E-mail] art-care@popo.or.jp
[URL] <http://artmeetscare.org>



参加申し込みフォーム

必要事項をご記入の上、該当する項目にチェックをいれてください。
※お預かりした個人情報、本大会の受付および今後の学会活動に関するご案内のために使用いたします

ふりがな				
お名前	☐ 会員 ☐ 学生会員 ☐ 非会員 ☐ 学生会員	参加日程	☐ 12/2(金) 前夜祭 (オンライン開催) ☐ 12/3(土) 大会 1 日目 (会場開催) ☐ 12/4(日) 大会 2 日目 (会場開催)	
住所	☐ ご自宅 ☐ 勤務先 〒			
連絡先	TEL ☐ ご自宅 ☐ 勤務先 E-mail ☐ ご自宅 ☐ 勤務先			
事前申込	☐ 12/2(金) オンラインインプロ WS 「身体とケア・自然体はどこにある？」(定員 20 名) ☐ 12/2(金) 参加型トーク 「ナイト・ミーツ・ケア・トーク～イマドキのガッカイ」 ☐ 12/3(土) ワークショップ 「銀河のぶよぶよさかな」(※現地開催のみ)			
お弁当申込	☐ 12/3(土) 1,000 円 ☐ 12/4(日) 1,000 円			

アートミーツケア学会 | 2022 年度総会・大会

今年は、久しぶりの現地開催！

アートとケアと教育と

～会えそうで会えなかった私たち～

[大会・総会]

12/3^土・4^日

[フリンジ企画]

11/26^土 - 12/1^木

[前夜祭]

12/2^金

申込〆切 11/26^土 定員 150 名 (申込先着順)

ずっと近くにあったにもかかわらず、なかなか直接出会うことがなかった「アートとケア」と「教育」。本大会ではアートとケアと教育の出会いから、それらのズレと重なりを捉え、そこに新たな実践や研究の可能性を見出していきます。複数の領域のあいだで新たな実践の社会実装を進める研究者や実践家、研究チームの取り組みも紹介。特別支援学校と大学のワークショップ展やみなさんの新たなチャレンジを刺激するマッチング企画など、久しぶりの対面での出会いをとおして、次なるビジョンを探っていく大会です。

主催：アートミーツケア学会 協力：東京学芸大学 花澤洋太研究室・笠原広一研究室 後援：東京学芸大学 (申請中)

11/26^土 - 12/1^木 フリンジ企画

プログラムによって開催方法や事前申し込みの有無が異なります。フリンジ企画の一覧は学会ウェブサイトにてご案内いたします。

12/2^金 19:00 - 20:30 前夜祭  オンライン

お申し込みいただいた方に配信URLを伝えます。

19:00 - 19:40 (40分)

身体とケア・自然体はどこにある？（インプロ／定員：20名※事前申し込み）

アート、ケア、教育の現場で自分自身が「自然体」でいることはとても重要です。でもそれってどうやって？ オンラインでインプロ（即興演劇）を楽しみながら、「表す／現れる」との間を探索し、ケアに関わる自分自身の「自然体」について考えます。

| 高尾 隆（インプロヴァイザー、吹奏楽指揮者・指導者、東京工業大学リベラルアーツ教育院教授）

19:40 - 20:30 (50分)

ナイト・ミーツ・ケア・トーク～イマドキのガッカイ（参加型トーク）

学会（ガッカイ）ってどんな場所？どんな人が集まっているの？どんなデノメリットがあるの？そもそも何を求めて集まっているんだっけ？大会中には言えないことや聞けないこと限定で、ゆるゆるトークを展開します。それぞれの場所から、お気に入りのドリンクと共にご参加ください。

| 話し手／聞き手：ほんま なほ（大阪大学教授）、高尾 隆（東京工業大学教授）、他

14:45 - 15:25 (40分)

基調講演 1 「ふれる・もつ・感じる展」の取り組み

—特別支援学校での美術教育と大学との連携— **学芸の森ホール**

| 花澤洋太（東京学芸大学教職大学院教授）、村山 拓（東京学芸大学特別支援科学講座准教授）
酒井秀彰（東京都立小平特別支援学校武蔵分教室教諭）、半田真祐・古川聡子（東京都立東久留米特別支援学校教諭）

15:30 - 16:10 (40分)

基調講演 2 福祉の現場／美術館／行政／大学のコラボ始まる

—特別支援教育から広がる新たな協働— **学芸の森ホール**

| 池田史志（広島大学大学院人間社会科学部研究科准教授）、川尻博満（広島県健康福祉局障害者支援課参事）
※オンライン登壇、保田香織（広島県アートサポートセンターディレクター）

16:15 - 16:55 (40分)

基調講演 3 見えない／見えにくい／見える人がつくるインクルーシブアート教育が現代美術教育を改革する —メディアアート教材開発を通して考えたこと— **学芸の森ホール**

| 茂木一司（跡見学園女子大学文学部教授）、大内 進（星美学園短期大学日伊総合研究所客員研究員）
布山タルト（東京藝術大学映像研究科教授）

17:05 - 17:50 (45分)

アートとケアと教育と ～会えそうで会えなかった私たち～（全体討論） **学芸の森ホール**

| 基調講演のパネリスト、他

12/3^土 10:00 - 17:50 大会 1 日目

現地開催のみ・有料

9:30

受付 **芸術館 1F**

10:00 - 11:30 (90分)

ワークショップ「銀河のぷよぷよさかな」（定員：20名※事前申し込み） **芸術館**

東京学芸大学の学生が特別支援学校の出張授業で行なった活動の様子を紹介しながら、実際に行ったワークショップを会場で体験します。

10:00 - 11:30 (90分)

鑑賞ツアー **芸術館**

「ふれる・もつ・かんじる展」のワークショップの様子や展示されている作品を紹介します。



11:40 - 12:30 (50分)

アートミーツケア学会総会 **学芸の森ホール**

今回の総会では、会則や年度の変更、活動内容の更新など学会の運営ルールの根幹的な部分の変更を提案します。多くの方のご参加をお待ちしております。

12:30 - 13:30

昼食休憩 ※会場周辺には店舗がないため、昼食は各自でご用意いただくか、お弁当の事前予約をご利用ください。

13:30 - 13:35

オリエンテーション **学芸の森ホール**

13:35 - 14:35 (60分)

特別講演「芸術教育における障害者の正義」（オンライン登壇） **学芸の森ホール**

社会のすべての人にとって有益な肯定的・文化的アイデンティティとしての障害者アイデンティティについてお話しします。これまで教育現場では障害は治療の対象と理解されてきました。しかし、ここで議論する芸術教育的アプローチでは、障害者アイデンティティをより複雑で豊かな絡み合いとして探求します。ここでの主要な概念であるエージェンシーとケアは、教室や社会全体における障害者のニーズによりよく対応するために問題化され大きく発展してきています。本発表では障害学の主要な側面に関連させながら、障害学の理論を実践に応用し、バワフルな障害者アーティストの作品例を共有するとともに、芸術教育において障害学を研究する主要な研究者の仕事を紹介します。これらのアートと芸術教育の実践は議論の重要なリソースとなるでしょう。美術教師がどのようにすれば障害者の正義（ディスアビリティ・ジャスティス）をカリキュラムに取り入れることができるのか。こうした問いに焦点を当ててお話しします。（※オンライン登壇、通訳あり）

ミラ・カリオ・タビン（Dr. Mira Kallio-Tavin）（ジョージア大学 ラマー・ドッド美術学部 ウィニー・チャンドラー特別教授）
脱植民地主義、移民、障害学、多様性、批評的動物研究など、芸術批評と芸術に基づく研究（Arts-based Research）に取り組んでいる。
国際美術教育学会（International Society for Education through Art: InSEA）副会長を務めるほか、国際障害学・芸術・教育会議（International Disability Studies, Arts and Education (DSAE) conference）の創設者でもあり、関連分野で多数の編著や論文を発表している。



12/4^日 9:30 - 15:10 大会 2 日目

現地開催のみ・有料

9:00

受付 **芸術館 1F**

9:30 - 11:30 (120分)

プレゼンテーション **S 棟 教室**

11:40 - 12:50 (70分)

ポスター発表 **※会場調整中**

※プレゼンテーション、ポスター発表では、複数の発表が同時並行で進行します。詳細は学会ウェブサイトにてご案内いたします。

13:00 - 14:30 (90分)

昼食休憩 ※会場周辺には店舗がないため、昼食は各自でご用意いただくか、お弁当の事前予約をご利用ください。

14:40 - 15:10 (30分)

ランチタイムプログラム
コラボ活 ～会えそうで会えなかった私たち～ **S 棟 410 教室**

会員同士のニーズやノウハウをマッチングさせながら、新たなチャレンジを刺激するような出会いを見つけてみませんか。みなさんの経験や専門性を掛け合わせると、問題解決と新たな実践や研究や事業のアイデアが生まれるかもしれません。次の一歩を見つけ出してみませんか？（当日 12:10 までに受付にお申し込みください）

| 岩田祐佳梨（NPO 法人チア・アート代表）、田中みわ子（東日本国際大学教授）、東京学芸大学・院生／学生チーム

可能性の種まき～大会全体の振り返り・閉会挨拶～ **S 棟 410 教室**

| 森口ゆたか（学会副会長／美術家、近畿大学科教授）

大会期間中に下記の展示もぜひお楽しみください！

「ふれる・もつ・かんじる展～宇宙のうみ」 **芸術館**

東京都内の特別支援学校と東京学芸大学が共同で取り組んでいる図工・美術の授業やワークショップの作品展です。学校教育の中で取り組まれている、アートとケアと教育の融合した実践を紹介します。（展示期間 11 月 27 日（日）～12 月 4 日（日））

同時開催展示

「洋々彩々展—東京学芸大学洋画研究室—」 **芸術館**

東京学芸大学の洋画研究室の大学院生や学部生による作品展。（担当：花澤洋太）

「世界と／日本と／私の変化を探求する」 **アートギャラリー**

東京学芸大学大学院「美術工芸科の高度研究開発法・美術工芸科の内容構成開発と実践」の取り組みを紹介する展示。（担当：笠原広一）